

逆さまだよ

小林守城

無縁になれば自由になれる  
その心地よいそよかぜが  
投げやりな街角や職場に忍び寄り  
いま人は孤立無援を恐れて  
スマートフォーンを逆さまにして  
吹き荒ぶ言葉に置き換える

林や空をゆく鳥の囀りは  
今も変わり泣く正直だ

働けば自由になれる

ALBERT MACHT FREI

アウシュビッツの入り口の  
粗末な鉄文字の表示板  
虐殺された人間とその言葉  
さかさまな結縁を求め  
その表示の文字を盗むネオ・ナチ  
政治支配は常に逆さまになる

詩は音声の誠の文字を  
書かねばならぬ

原子力は希望の未来  
ヒロシマ・ナガサキの  
毒をもって毒を制す  
縋りつく人々への修辞法  
原子力の平和利用  
核の抑止力  
そしてまた正義の戦争  
なめらかに積極的平和主義  
フクシマを経てなお  
破れたレトリックを繕うものよ  
政治支配は常に逆さまになる

花咲くいのちの鎖のなかへ  
ことばは帰らねばならぬ

地に落ちた美しい言葉

いや血反吐も吐かぬ言葉

詩人はつねに希少種だが

いや絶滅危惧種に追いやられ

孤絶の部屋から雨の中

怨念の言葉を吐き

逆さまな詩を書くことになる

詩は菩薩のような真言を  
雨の中に書かねばならぬ

愛も希望も慈しみも空々しく

自分を逆さまにして

担いきれぬ肩の荷を下ろし

鳥や虫たちの音声をまねて

なお詩を書いたとて何になる

花咲くいのちの鎖のなかへ  
ことばは何度でも帰るのだ